「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ

公益社団法人フードバンクかながわは
県内12の非営利団体の協同により設立され運営される
「もったいないを分かち合い・ありがとう」へつなぐフードバンクです。

フードバンクかながわ

2021年度
事業活動のご報告

秦野市役所の
食品提供

中央労金神奈川県本部の米一合運動

コロナ禍2年目、食支援の連携力が拡がりました

県庁でのフードドライブ

上鶴間中学校の米一合運動

年間事業活動報告

2022年3月31日現在

● 年間寄贈食品	重量 287.1 トン	
企業・生協・JA 等	194.1 トン	
フードドライブ	76.4 トン	
寄付金での購入	16.6 トン	
● 年間提供食品	重量 270.3 トン	
行政・社会福祉協議会	50.9 トン	
地域のフードバンク	91.3 トン	
こども / 地域食堂	86.7 トン	
施設等	2.6 トン	
福祉・外国関連支援	38.8 トン	

寄贈合意書締結団体	219 団体
防災備品等	124 団体(再掲)
提供合意書締結団体	281 団体
行政・社会福祉協議会	58 団体
市民団体	223 団体
フードドライブ回収拠点	299 か所
賛助会員団体	204 団体
賛助会員個人	291 人
寄付累計	53,930,863 円

2021年度寄付 18,526,278 円

決算報告は総会後ホームページにアップします

代表理事・常務理事のあいさつ

共同代表 當具 伸一

神奈川生活協同組合連合会会長 /
生活協同組合ユーコープ理事長

『「もったいない」を「分かち合い」・ありがとう」へ』をスローガンに発足した、フードバンクかながわも4年が経過し、皆様方の多大なご協力のおかげで、当初想定をした以上の勢いで活動規模をひろげることができています。2022年度からは、冷凍食品の扱いもはじめ、より一層のひろがりが期待されます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の中で、以前からあった「格差と貧困」の問題がこれまで以上に目に見える形でひろがっています。そして、地域の中で「食支援」を中心として支援を必要とする人たちが増えてきており、行政だけでは対応できなくなっています。

今こそ、行政・社協・民間支援団体が一体となり、「地域のセーフティネット」づくりが求められています。フードバンクかながわが「地域の食支援のプラットフォーム」となり一層中間支援組織としての役割を果たすことが出来ますよう、皆様方の倍旧のご支援をお願いいたします。

共同代表 吉坂 義正

連合神奈川会長 /
神奈川県労働者福祉協議会会長

「フードバンクかながわ」も発足して、5年目を迎えることとなります。

2020 年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、今なお猛威を振るい続けています。次々と発生する変異株により、収束の目途がたたない状況が続いています。

こうした中で食の支援要望も多く、寄贈食品は 270 トンと大きく増えてきました。ご支援・ご協力頂きました皆さま方に、心から感謝申し上げます。

私たち労働福祉団体も昨年に引き続き「お米一合運動」を展開し、昨年を上回る約 10.8 トンのお米を届けることが出来ました。

今後も「フードバンクかながわ」の安定した事業運営と事業拡大に向けて、「お米一合運動」やイベント時の「フードドライブ」活動を継続するとともに、更なる賛助会員の拡大、学習会や体験研修を通じて「知ってもらい・伝えてもらい・行動する」を基調に運動に取り組んでまいります。引き続きの皆さま方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

常務理事 半澤 彰浩

生活クラブ生活協同組合専務理事

この原稿を書いている 4/26 は 36 年前にチェルノブイリ原発の事故のあった日です。8000 ㎞も遠く離れている日本にも放射能が降り生活クラブのお茶が汚染されました。ウクライナでは戦車が走り、稼働しているチェルノブイリ原発を攻撃するという事態が起きました。

戦争、コロナ禍、気候変動と今ほど人の命（いのち）と尊厳が損なわれている時代はないのではないでしょうか。この社会は以前よりもさらに弱い人がより傷つく社会になっていないでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大はシングルマザーや非正規雇用で働いている人たちを直撃し新自由主義的な政策によって格差社会が拡大し、しかも自己責任という言葉とともに結びつきのない社会を生みだしてきています。中でも子どもの貧困が広がっていることを懸念します。私たちとつながるすべての命（いのち）、そのつながりそのものを守ることがこれからの時代とても大切です。フードバンクかながわの活動はこれからも食べ物を通じて「いのち」のつながりを広げていきたいと思います。

常務理事 渡邊 たかし

生活協同組合パルシステム神奈川専務理事

新型コロナウイルス感染は3年目となりましたが収束するような状況にはありません。コロナ過では、弱い立場の人たちだけでなく、普通にくらしを維持できていた人たちも、仕事を失うなどによって、多くの人たちが困窮に陥り社会の大きな問題となっています。

また、2022 年2月にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、様々な物の値上がりによって、くらしが圧迫されています。

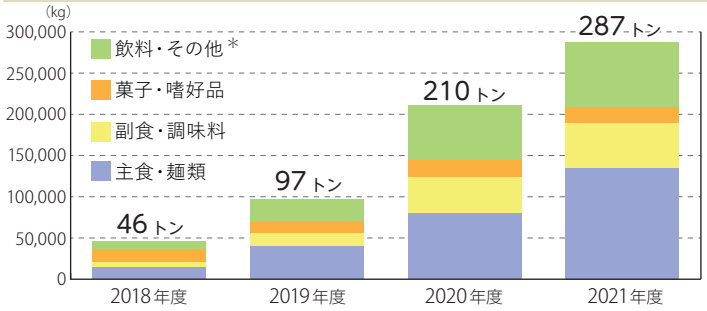
このような状況の中で、フードバンクかながわには、明日の食べ物に困っている人たち、それを支える団体や個人から「助けてほしい」との声が多く寄せられ、その声は日に日に増えています。一方で、様々な企業や団体、個人からは「協力したい」との寄付やボランティアに支えられ、「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」への賛同の輪が、大きく広がっています。

ウクライナへの軍事侵攻によって、多くの市民が 犠牲となり、身一つで避難を余儀なくされており、怒りと悲しみが募るばかりです。命はかけがいのないものです。誰もが「幸せに生きたい」と願う想いに寄り添い支えていけるように、今後もフードバンクかながわの活動を広げていきます。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年度 フードバンクかながわの概況

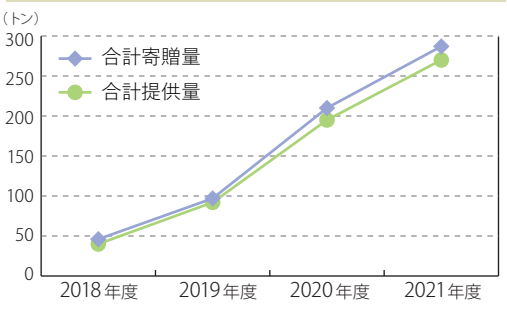
食品の寄贈 1208回 287.1トン（2020 年度実績：210.2 トン）
食品の提供 2298回 270.3トン（2020 年度実績：194.2 トン）

2018-2021 年度食品寄贈重量（中分類別）



＊その他…ベビーフード、栄養補助食品、野菜、家庭用品など

寄贈量 / 提供量推移



フードバンク活動の
さらなる発展のために…

休眠預金活用助成事業

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金を活用した事業です

（紙面の都合で敬称略といたします）

「中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業」
（2021 年度休眠預金助成事業パブリックリソース財団）

「県域レベルをカバーし地域のハブとなる中核的フードバンクとして、食品や物品の調達力を推進する組織基盤の強化、同時に地域のフードバンクやこども食堂と連携し食支援の事業モデルを確立、将来的に必要不可欠で持続可能なインフラに整備する」事業に申請。助成期間は 3 年間、最大 3,400 万円。助成を受け配送用 3 トントラック、冷凍車を購入。冷凍食品取扱いにチャレンジすることになりました。

2トン冷凍車

社会的インパクト評価事前調査実施（アンケート）

冷凍食品取扱いについてオンラインでアンケートを実施し 116 件の回答を得ました。こども食堂は肉などを購入することも多く、ひとり親世帯では調理時間が短く、子どもでも作れる総菜として冷凍食品は期待されています。

JAさがみ寄贈
12フィート冷凍コンテナ

冷凍食品取扱い開始に向けて

助成により 3 トントラックを購入。4 月には 2 トン冷凍車、貸与用冷凍庫を購入。2022 年度は利用者ニーズの高い冷凍食品の取り組みにチャレンジする準備を進めました。冷凍食品の配送ライン確立までは金沢倉庫で受け取り可能な団体に提供しています。冷凍庫の無償貸与も併せて実施しました。

年度末にはクラダシ㈱経由でマルハニチロ㈱の鶏唐揚げが 3 トン入荷し、ロケットスタートとなりました。

フクシマガリレイ㈱寄贈
1000ℓ 冷凍庫2台

持帰り用大型シッパー

フードバンク浜っ子南へ
405ℓ 冷凍庫無償貸与

冷凍鶏唐揚げ3トン

クラダシ㈱寄贈冷凍庫

フードバンクに関する情報交換会（オンライン）

❶「初めてみよう食品寄贈・フードドライブ」
2021 年 11 月 24 日（水）50 名参加

① SDGs アクションでフードドライブ
（神奈川県いのち・未来戦略本部室 沖田弓弦さん）

②信金全店舗で地域と連携したフードドライブ
（中栄信用金庫業務部 原田和彦さん）

③ NPO と連携した食支援（鎌倉市健康福祉部 寺山 明さん）

④フードバンクへの寄贈
（日本食研ホールディング㈱ 宇高良治さん）

⑤店舗でつなぐフードドライブの共感
（㈱イトーヨーカ堂 大日向晃子さん・松島孝義さん）

⑥フードバンクかながわの新たな取り組み（藤田 誠）

❷「食支援に地域の力を活用しよう
2022 年 2 月 23 日（水）46 団体参加

①真夜中の無料フード＠沼間（逗子市 CoCoLo の会）

②地域連携でフードドライブとパントリー
（青葉区 青葉フードシェアネットワーク）

③町内会との連携によるフードパントリー
（神奈川区 ふれあいっこ三ツ沢）

④市との協働事業を活用する（相模原市 フードコミュニティ）

事業者寄贈・災害備蓄品
194.1トン

事業者からの食品寄贈により食品ロス削減に協力しました

フードバンクかながわは
「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ
をモットーに活動しています

企業・生協からの食品の寄贈には、食の安全を重視し、双方の信頼関係に基づく合意書を取り交わしています。合意書締結団体は 219 団体 (2020 年 155 団体)。事業者からの寄贈は 2021 年 4 月から 22 年 3 月までの 12 か月間で 194.1 トン（うち、災害備蓄品 55.3 トン）となり 2020 年の 1 年間 166.6 トンを大きく超えました。

寄贈重量（トン）

＊災害備蓄品

ユーコープ	19
キリンビバレッジ(株)	17.6
コカ・コーラ BJ(株)	16.7
日本生協連	16
パルシステム神奈川	13
セカンドリーグ神奈川	11.3
横浜市役所＊	10.3
ミツハシライス (株)	7.2
日本食研 (株)	6.4
富士フイルム生協＊	5.6
かね正アグリシステムス (株)	5.1
日立製作所 (株)＊	4.2
クラダシ (株)	3.6
マルコメ (株)	3.2
エバラ食品(株)	2.8
川崎労働者福祉協議会	2.8
横浜銀行＊	2.2
東京海上日動火災保険(株)＊	2.2
富士通(株)＊	2.1

日本生活協同組合連合会（日本生協連）

プリマハム(株)

富士フイルム生協 備蓄品

川崎労働者福祉協議会

日本農産工業(株)

エバラ食品工業(株)しゃぶしゃぶたれ

金融庁備蓄品

日本食研(株) タンドリーチキン素

マルコメ(株) みそ

アンリツ労組 備蓄品

県庁 備蓄品

コカ・コーラBJ(株)

全農三浦農協 大根

日産クリエイティブ(株) 備蓄品

東京電力パワーグリッド(株) 備蓄品

キリンビバレッジ(株)

富士通(株) 備蓄品

クラダシ(株) パイの実

フードドライブ
76.4トン
（2020年 43.6トン）

食品ロス削減・わかちあいの輪が拡がりました

フードドライブはSDGs活動とともに実施団体が増え、イトーヨーカドー18店舗、そうてつローゼン17店舗、無印良品38店舗、イオン2店舗、クイーンズ伊勢丹などで回収ボックスが設置されています。また中栄信用金庫、横浜信用金庫、川崎信用金庫、平塚信用金庫でも期間を決めて回収ボックスが設置されました。

フードドライブ実績

イトーヨーカドー18店舗	14.3トン
ユーコープ80店舗	14.2トン
労働団体関係 計	8.9トン
パルシステム神奈川	7.6トン
生活クラブ	4.7トン
無印良品38店舗	4.1トン
そうてつローゼン17店舗	4トン
中栄信金16店舗	2.7トン
JA関係 計	2トン
個人353名	(延べ)4.4トン

2トン以上掲載

※フードバンクかながわでも幟、ポスター、箱の提供をしている。

行政の呼びかけが拡がる

神奈川県はホームページで「SDGsアクションに向けたフードドライブ活動の実践」として、フードドライブ活動を応援し、食品の回収場所を知らせて社内フードドライブを推進しました。

横浜市も「フードバンク・フードドライブ活動の推進」のためのグッズ貸し出しを実施しました。

ユーコープは8月と1月に80店舗、常設は25店舗

瀬谷西高校

ナチュラルコープ ヨコハマ

三井住友信託銀行

中栄信用金庫

横浜市立大学

そうてつ
ローゼン泉店

横浜岡田屋

生活クラブデポー

JA横浜たすけ愛チーム

県庁でのフードドライブ

京急電鉄

明治安田生命

JAさがみ

パルシステム神奈川

micronメモリージャパン

学校でもチャレンジ

身近なSDGsとして食品ロス削減を学ぶため、フードバンクかながわへ講座の依頼が増えました。真土小学校、田名小学校、上鶴間中学校、瀬谷西高校は学びから実践へとフードドライブにチャレンジしました。横浜市立大学は、学生への食支援としてフードドライブ活動を行いました。

店舗でのフードドライブに取り組んで

イトーヨーカドー横浜別所店店長(当時) **松島孝義さん**

食の支援やフードロスの削減など、様々な課題解決に繋がるフードドライブ活動に対して、お客様はもちろん、従業員が共感しています。ご家庭で食べきれない食品はもちろん、お店で買っていただいた日付の新しい食品まで寄付してくれている方もいらっしゃいます。

フードバンクかながわ学習会でも、大変貴重なお話を聞かせていただきました。今年入社した新入社員は、ご利用者の方々からいただいた「ありがとう」の声を、寄付していただいた方へ届けたいという強い想いが湧き、今回売場を進化させてくれました。

これからも地域のお役に立てるよう販売だけではなくお客様と一緒に課題が解決できる場を目指して取り組んで参ります。

横浜別所店新入社員がありがとうを伝えるメッセージを作成

提供先の活動

提供 270トン 222団体 2,630回

コロナ禍で困窮に陥る世帯が増え、食支援がひろがりました。
対象となったのは、ひとり親世帯、学生、外国につながる人々などでした。

がじゅまる食堂

フードバンクえ･び･な（海老名市役所）

キッズカフェ杉田

カフェドフクシマ

わいわいキッチン

満福うえのまち食堂

神奈川ゆめ社会福祉財団（奨学生）

フリースペースおかえり

横浜市「ばくサポ」ひとり親支援

相模原市

瀬ケ崎西町内会

大船なかよしこども食堂

エスポワール学習会

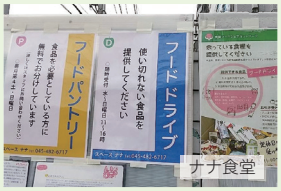
横浜市立大学

永田地区センター

満福いずみ食堂

となりのれすとらん

にのみやこども食堂便 みんなのとまり木



ナナ食堂

フリースペースいらっしゃい

戸塚YMCA

フードリンクあやせ（綾瀬市×綾瀬市社協×市民団体）

平塚YWCA YYキッチン

フードバンクふじさわ

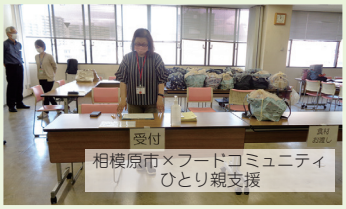
こども食堂 にこまるプラス

寿町フードバンク活動 カナンキリスト教会

しんばし子ども食堂

小田原たすけあい

ワーカーズコープつるみ元気塾



相模原市×フードコミュニティ
ひとり親支援

フードバンク横浜

秦野市役所

鎌倉フードスマイルプロジェクト
（鎌倉市×ふらっとカフェ鎌倉）

おむすびの会

相模原市役所

地域食堂RCB大口夢

こども食堂ひまわり

神奈川土建相模原支部

フードバンク湘南

ハレルヤ

くろーばーマーケット

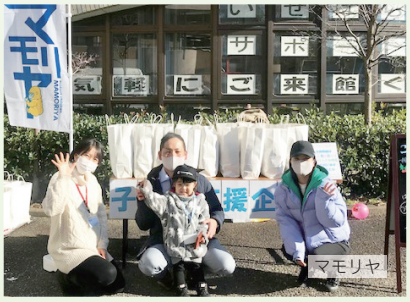
ちゃっと

CoCoLoの会（学習支援）

モンド 子ども食堂

たかつデポー フードドライブとパントリー

たすけあいゆい



マモリヤ

夢コミネット
（親と子のつどいの広場）

たいしょう食堂

フードバンク浜っ子南

（校内カフェ）

ふじポケ

リンクトウミャンマー

金目OK食堂

かながわ学生
ボランティア連合

鎌倉児童ホーム

こどもスマイル食堂

25トン提供したブラジル solidario 横浜 より

ブラジル solidario 横浜　中島牧子さん

2021年度、貴団体を通じて25トンもの支援物資を提供いただいたことは、感謝の念に堪えません。当法人は、ブラジルと横浜の友好の架け橋になる各種活動を行っております。コロナ禍における緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の影響は、外国人労働者を直撃しました。在日日系外国人の多くは派遣などの非正規雇用として工場などで就業しています。いわゆる雇止めや残業カットにより生活が成り立たなくなるケースが頻発しました。

『周りに頼れる親戚や知人もいない』、『子どもが小さく共働きができない状況下で減収となり生活が苦しい』といった声も数多く届くなかで、一世帯でも多くの手助けができるようにネットワークを活用しています。

受け取った物資に対して多くの感謝の声が上がっています。また、今後は外国人だけでなく経済的に困窮する学生を支援する活動にも力を入れていきますので、益々のご支援とご協力をお願い申し上げます。

米寄贈
90.0トン超
（2020年49.7トン）

コロナ禍でこども食堂から食品支援（フードパントリー）へ活動転換する市民団体が増えました。200～300人規模で食支援を行なう行政もあり、求められる米の量は増大。1.5kgの小袋を800袋作る日が続きました。

米一合寄付の仕組み

米一合を袋に入れて持ち寄る
↓
フードバンクかながわで精米・小分け
↓
地域の支援団体へ
↓
食品が必要な世帯へ

事業者からの米寄贈

ユーコープ10トン、ミツハシライスは毎月600kg（年間7.2トン）、パルシステム神奈川12トン、JA宮城（セカンドリーグ神奈川のマッチング）9トン、かね正アグリシステムズ（農水省の米）5トン、西湘労福協1.8トン、川崎労福協2.6トン、ナチュラルコープヨコハマ1.5トン、JA花巻いわて0.6トンの寄贈。　労福協：労働者福祉協議会の略

米一合運動

2020年に始まった連合神奈川と神奈川県労福協の「米一合運動」は、わかりやすい運動として拡がり、昨年の4.4トンから今年は10.8トン(3/31まで)に伸長しました。

米一合プロジェクト

生協での米一合寄付の活動は、ユーコープ湘南エリアから始まり横浜、川崎、県央エリアに拡がっています。

学校での米一合

活動のチラシを見たPTAやSDGs学習会から米一合寄付の活動に拡がりました。

パルシステム神奈川の米寄贈。2022年は「お米でつながるみらいアクション」で米購入量の1%をフードバンクに寄贈します。

西湘労福協の米一合運動

米一合運動で相模原労福協は1トンを達成。

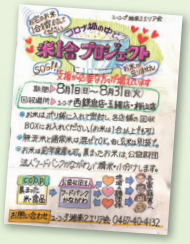
米一合運動 / 米一合プロジェクト

川崎労福協

三浦半島労福協

県中央労福協メーデー米

箱根登山鉄道労組



JAいわて花巻

ナチュラルコープヨコハマ

ユーコープ県央エリア会

ユーコープ湘南2エリア会

相模原市立田名小学校

賛助会員　大ぜいの団体・市民に支えられて運営しています

法人会費▶1口10,000円　個人会費▶1口1,000円

法人の賛助会員：204団体 651口

（公開団体のみ、敬称略、数字は口数）

マルハニチロ㈱10
大塚製薬㈱横浜支店10
日本ハム㈱10
㈱ヨネヤマ
川崎医療生活協同組合
横浜魚類㈱10
神奈川大学生活協同組合
ワーカーズ・コレクティブJam
国分首都圏㈱
㈱山星屋
NPO法人なんとかなる
日本食研㈱5
㈱伊藤園
㈱横浜銀行10
㈱ニチレイフーズ5
フジッコ㈱10
日産車体労働組合2
県中央地域連合2
川崎市教職員組合2
相模原市教職員組合2
相模原地域連合2
川崎労働者福祉協議会2
㈱テイクフォー5
西湘地区教職員組合2
東芝労働組合小向支部2
プリマハム㈱10
川崎市職員労働組合2
三浦半島地区教職員組合2
JFE物流京浜労働組合2
Café de FUKUSHIMA
ボッシュ労働組合10
かながわ教職員組合連合2
森永乳業㈱10
横浜市教職員組合西支部
横浜市教職員組合港南支部
横浜市教職員組合中支部
横浜市教職員組合緑支部
横浜市教職員組合栄支部
横浜市教職員組合女性部
サトウ食品㈱10
㈱日立製作所10
まいばすけっと労働組合2
キッコーマン食品㈱10
東京電力労働組合神奈川地区本部神奈川カスタマーセンター支部2
パナソニックオートモーティブシステムズ労組佐江戸支部2
㈲彩瑛2
企業組合エコ・アド
横浜なぎさ地区連合2
横浜戸塚地区連合2
横浜水道労働組合
イワタ工業㈱5
NTT労働組合神奈川分会
東京電力労働組合神奈川地区本部
横浜ゴム労働組合平塚支部2
横浜北生活クラブ生活協同組合

味の素㈱10
遠州トラック㈱5
㈱ミツハシ10
㈱情報システム工学10
三菱食品㈱10
やまゆり生活協同組合
加藤産業㈱10
㈱ダイイチ10
横浜農業協同組合5
㈱明治
さがみ農業協同組合5
日本ロードマーク㈱
連合神奈川職員労働組合2
自治労神奈川県本部4
日産工機労働組合2
基幹労連神奈川県本部2
日興電機労働組合2
相模原労働者福祉協議会2
西湘地域連合2
横浜労働者福祉協議会2
全日本海員生活協同組合3
横浜地域連合14
コイト電工労働組合2
ミツトヨ労働組合川崎支部2
UAゼンセン神奈川県支部10
住友重機械労働組合連合会横須賀地方本部2
西湘地域労働者福祉協議会2
全印刷局労働組合小田原支部2
三菱ふそう労働組合本社支部2
全日本運輸産業労働組合連合会神奈川県連合会2
伊藤ハム㈱10
ハマ冷機工業㈱5
(有)Room for
横浜市教職員組合南支部
横浜市教職員組合磯子支部
横浜市教職員組合港北支部
横浜市教職員組合都筑支部
横浜市教職員組合泉支部
横浜市教職員組合障がい児連絡協議会
東京電力労働組合神奈川地区本部相模原支部
東京電力労働組合神奈川地区本部横浜火力支部
東京電力労働組合神奈川地区本部川崎支部2
東京電力労働組合神奈川地区本部横浜支部2
二宮町社会福祉協議会
横浜東部地区連合2
横浜西部地区連合2
山崎製パン㈱
全水道川崎水道労働組合
かわさき生活クラブ生活協同組合
神奈川県高等学校教職員組合2
さがみ生活クラブ生活協同組合
全水道横須賀水道労働組合
全水道神奈川広域労働組合

㈱あらた首都圏支社10
JA全農ミートフーズ㈱10
㈱日立物流南関東10
福祉クラブ生活協同組合
㈱日本アクセス
東都生活協同組合10
安全輸送㈱10
㈱タカキベーカリー
セレサ川崎農業協同組合5
相鉄ローゼン㈱5
相模原市農業協同組合5
㈱NKトランス5
川崎地域連合2
JAMオイレス労働組合2
日産自動車労働組合2
三浦半島地域連合2
中地区教職員組合2
湘北教職員組合2
湘南教職員組合2
小田原・足柄地域連合2
㈱三菱UFJ銀行10
神奈川県教職員組合2
㈳福 たすけあいゆい
㈳福 いきいき福祉会3
㈱コープライフサービス
神奈中ハイヤー労働組合2
立建設㈱5
横浜市教職員組合旭支部
横浜市教職員組合鶴見支部
横浜市教職員組合金沢支部
横浜市教職員組合青葉支部
横浜市教職員組合戸塚支部
横浜市教職員組合瀬谷支部
㈱アイホーム
横浜西南地区連合2
横浜北部地区連合2
有限会社アクセル
JAM神奈川2

個人の賛助会員：291人　1,467口

お名前は割愛させていただきます

凸版印刷㈱10
共栄火災海上保険㈱京浜支店10
㈱カワタキコーポレーション
富士フイルム生活協同組合10
東京海上日動火災保険㈱10
神奈川みなみ医療生活協同組合
神奈川北央医療生活協同組合
センター事業団神奈川事業本部
北海道漁業協同組合連合会3
医療生協かながわ生活協同組合
生活協同組合うらがCO-OP3
NPO法人ピッピ・親子サポートネット3
神奈川県厚生農業協同組合連合会5
全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部5
㈱神奈川県農協情報センター5
神奈川県信用農業協同組合連合会5
オリックス自動車㈱横浜支店10
一社)神奈川県労働福祉センター(ワークピア)3
日本郵政グループ労働組合神奈川県連絡協議会2
神奈川県電力関連産業労働組合総連合2
神奈川県地方自治研究センター2
自動車総連神奈川地方協議会2
日産オートモーティブテクノロジー労働組合2
日産労連神奈川地方協議会2
小田原・足柄地域労働者福祉協議会2
三浦半島地域労働者福祉協議会2
富士通労働組合プロダクトグループ2
電機連合神奈川県地方協議会2
全駐留軍労働組合神奈川地区本部2
横浜労働者福祉協議会東部支部2
神奈川県教職員組合協議会2
情報産業労働組合連合会神奈川県協議会2
三菱重工グループ労働組合連合会本社・横浜地区本部2
横浜みなみ生活クラブ生協金沢コモンズ運営委員会
湘南地域労働者福祉協議会2
横浜市教職員組合神奈川支部
横浜市教職員組合保土ヶ谷支部
横浜市教職員組合事務職員部
横浜市教職員組合養護教員部
横浜市教職員組合栄養教職員部
東京電力労働組合神奈川地区本部東扇島火力支部2
東京電力労働組合神奈川地区本部藤沢支部2
東京電力労働組合神奈川地区本部川崎火力支部2
川崎労働者福祉協議会商社会
みどりコモンズ エッコロひろば「大人のたしなみ」
全日本水道労働組合関東地方本部神奈川県支部
横浜みなみ生活クラブ生活協同組合
横浜北生活クラブわかばコモンズ
横浜北生活クラブあおばコモンズ
横浜北生活クラブつづきコモンズ
横浜北生活クラブみどりコモンズ
横浜北生活クラブつるみコモンズ3
生活クラブ湘南ふじさわコモンズ
湘南生活クラブ生活協同組合
神奈川県漁業協同組合連合会

さまざまな活動

ボランティア参加972名

コロナ禍で食品の需要は高まり、密を避けワクチン・消毒・手洗いに気を付けて仕分け作業。累計で 972 人のボランティア参加がありました。

生活クラブ理事研修とボランティア

ユーコープ理事研修とボランティア

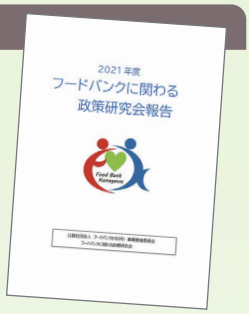
フードバンクに関わる政策研究会

3 回開催し、会員団体の政策要望、提案の資料として研究会報告を作成。内容は以下の通り。( )内は講師

①県西部の食支援と世界のフードバンク事情
（NPO 報徳食品支援センター　本岡 俊郎さん）

②コロナ禍での学生の状況と支援
（横浜市立大学ボランティア支援室　柳本 薫さん）

③横浜市のひとり親と政策的支援
（横浜市こども家庭課　奥津 正仁さん）



SDGs食品ロス削減副読本『食品のひみつ』

小学校 5 年生から学ぶ SDGs の具体的な活動としてフードバンクを学ぶ副読本。2020 年版のデータを更新し指導要領も添付。

NPO法人ワーカーズ･コレクティブ協会の横浜市就労準備支援事業の実習生を受け入れています。

学習会･研修　69回　1253人

学習会はオンライン・人数制限で実施。　体験研修も人数制限をして実施。

パルシステム神奈川親子学習会

連合神奈川女性委員会

JA 横浜は 3 回に分散して学習会

大和市立下福田小学校

横浜市立大学研修とボランティア

平塚市立真土小学校

県議会総務政策常任委員会

食品ロス削減コースターデザインコンテスト

最優秀作品　小学生部門岡陽香さん、中高生部門高取采加さん、一般部門五十嵐恵利さんの作品をコースターに作成。

コンテスト入選作品

左列が最優秀作品（上から小学生の部、中高生の部、一般の部）

連合・神奈川基幹労連

相模原市、三井住友海上火災保険㈱、公社フードバンクかながわの三者間で運送保険による食品ロス削減協定を締結

ありがとうございました

（敬称略）

寄付

（紙面の関係で15万円以上の寄付を掲載）

労働者福祉基金	500 万円	JA 横浜女性部	19 万 6,577 円
ユーコープフードバンク募金	400 万円	日本発条労組	17 万円
アンリツ労働組合	140 万 4,500 円	鈴木邦弘	90 万円
横浜銀行フードバンク応援私募債	441 万円	匿名	60 万円
日本農産工業㈱	100 万円	金子秋彦	50 万円
JA 共済神奈川県本部	30 万円	小林義憲	36 万 5,000 円
JHP/ 学校をつくる会	30 万円	佐藤毅	30 万円
高野山真言宗婦人会神奈川支部	20 万円	オオサワナオコ	20 万円

JA 横浜女性部　寄付と食品寄贈

労働者福祉基金贈呈式

ユーコープ
フードバンク募金贈呈式

助成金

休眠預金活用助成金 1,260 万円（2021 年分）

ありがとうの声

ひとり親世帯への支援

横浜市立大学

- お菓子とお米が届きました。お米が大変たすけられています。ありがとうございました。（神奈川ゆめ社会福祉財団より）
- コロナ禍で仕事も減ったまま。食べることの不安がないのは本当に助かります。もしこの事業（ぱくサポ）がなかったら不安と心配でつぶれていたと思います。本当にありがとうございます。（横浜母子寡婦福祉会より）
- お米、子どものお弁当にとても助かっております。前までお米の心配ばかりしていたのでこんな日が来るなんて本当にありがたいです。（横浜母子寡婦福祉会より）
- たくさんの食品の支援が心の支えになっています。ご支援くださる皆様に感謝いたします。一つひとつ大切に娘のために食べさせます。お米をいただいているおかげで、娘が 1 人でいてもおにぎりを作ったりして本当に助かっています。（横浜母子寡婦福祉会より）

学生への支援（横浜市立大学のアンケートより）

- ひとり暮らしでなかなか表立って人とのつながりが持てない中、どなたかに支えてもらっている安心感をいただきました。気持ちの面で強い支えをもらっています。
- スーパーに行くとなぜかすべてが高く感じてしまって買うことができない。実家から送られてくるご飯とふりかけだけの生活が続いていたので、非常に助かった。
- 100 名限定だったので、少しでもバイトができているから私は我慢するという友達がいました。皆が支援を受けられるようになればさらにいいと思いました。
- こんなにもらえるとは思わなかった。授業が始まったらアルバイトに入れなくなるのですごく不安。友人は今 4 人しかいない。部活にも入れていない。（1 年女子）
- 食生活はご飯を食べる前にキャベツを食べておなかを膨らませるなど工夫している。実家には全く帰っていない。飲食のバイトもほとんど入れていない。お金のやりくりが大変。緊急事態宣言が明けても現状は全く変わらないし、授業が始まったらバイトにはもっと入れない。（2 年男子）

外国につながる人への支援（ブラジル Solidario 横浜より）

- お金がない中で赤ちゃんが産まれて、ミルクも買ってあげられなくて困っていたところを助けてもらって、みなさまにどうやってお礼を言ったらいいのか。ありがとうございます。まだ、お願いしないといけない状況ですが、よろしくおねがいします。
- 就業中に腰を痛めてしまい、1 週間 1 人自宅で待機するハメに。派遣社員ですが、生活は楽ではありません。買い物へ行くのも辛く医療費もかさむので途方に暮れていましたが、そんな折に助けて貰えて本当に嬉しかったです。おかげさまで、無事に職場復帰できました。

2021 年　学生の状況

（横浜市立大学のアンケート調査より）

Q 支援品にあると助かるものは？

- おかず系（レトルト･缶詰等）… 93
- 主食系 …… 84
- カップ麺・麺類 …… 72
- 調味料･調理の素 …… 58
- 野菜・乾物などの食材 …… 57
- ジュース・お茶等 …… 53
- 菓子類 …… 49
- 生活雑貨 …… 23

Q 現在困っていることはありますか？

◆ ある …..51

- 生活費が苦しい …… 36
- 実家からの経済支援が少ない ……17
- アルバイトができない、縮小 …… 24
- 実家に帰れない ……16

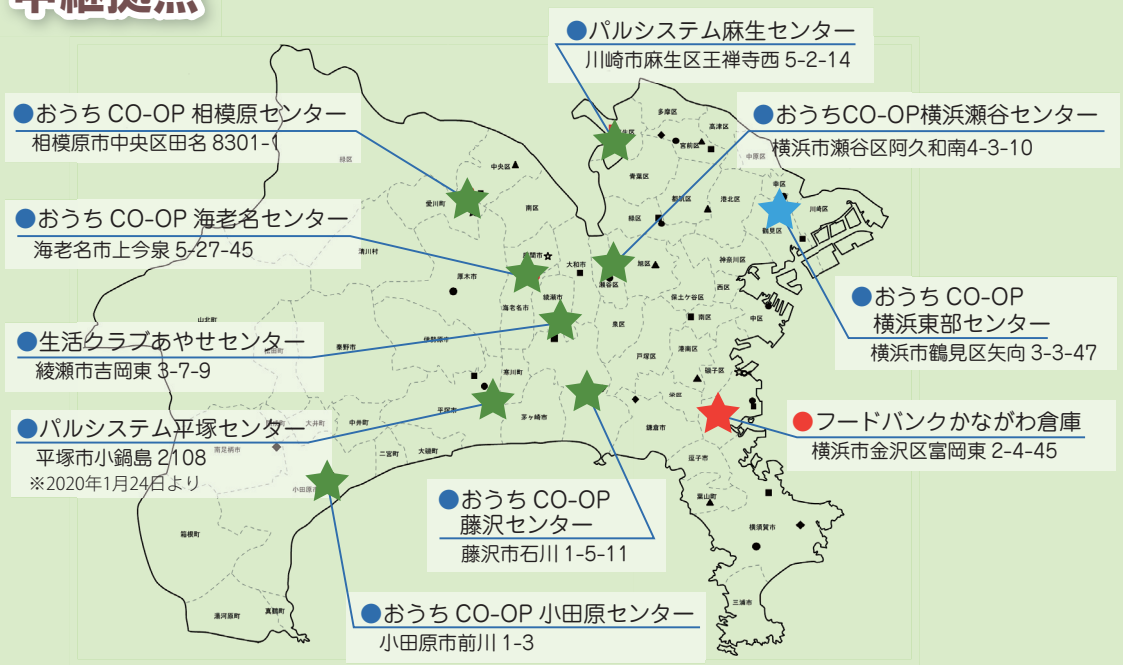
◆ ない …..60

4月納車の冷凍車（2022年度休眠預金活用助成）

精米機、
自動計量機他寄贈
（JAさがみ）

3トントラック購入
（2021年度休眠預金活用助成）

中継拠点



代表理事	當具 伸一	（神奈川県生活協同組合連合会会長、生活協同組合ユーコープ理事長）
	吉坂 義正	（日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長、神奈川県労働者福祉協議会会長）
常務理事	半澤 彰浩	（生活クラブ生活協同組合専務理事）
	渡邊 たかし	（生活協同組合パルシステム神奈川専務理事）
理事	市川 敏行	（神奈川県労働者福祉協議会事務局長））
	大石 高久	（公益財団法人かながわ生き活き市民基金専務理事）
	篠崎 みさ子	（生活クラブ生活協同組合理事長）
	鈴木 紀子	（生活協同組合パルシステム神奈川常任理事）
	高橋 英樹	（中央労働金庫神奈川県本部営業担当部長）
	高村 文子	（公益財団法人横浜 YMCA 国際地域事業チーフディレクター）
	田中 知己	（生活協同組合ユーコープ執行役員）
	二宮　務	（神奈川県農業協同組合中央会専務理事）
	庭野 文雄	（神奈川県生活協同組合連合会専務理事）
	檜垣 明宏	（日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長）
	山口 友範	（生活協同組合ユーコープ執行役員・かながわ県本部長）
監事	井上 雅喜	（特定非営利活動法人参加型システム研究所理事・所長）
	塩崎 輝幸	（こくみん共済 COOP 神奈川推進本部事業推進部部長）
事務局長	藤田　誠	（生活協同組合ユーコープ）
事務局次長	土山 雄司	（生活クラブ生活協同組合）
事務局	薩本 史朗	（生活協同組合パルシステム神奈川）
	小林　薫	（かながわライフサポートセンター・県労福協）
	荻原 妙子	（かながわ生き活き市民基金）

公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051　横浜市金沢区富岡東 2-4-45
TEL：045-349-5803
FAX：045-349-5804
Mail：info@fb-kanagawa.com
2018 年　2 月 22 日 設立

HP はこちら

2022 年 6 月 2,000 部
編集デザイン：企業組合 エコ・アド

休眠預金活用法に基づく
中核的フードバンクによる地域包括支援体制助成

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金を活用した事業です